

# 2023年3月期 第3四半期 決算概要

2023年2月10日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## ■ 2023年3月期 第3四半期(以下、3Q)決算概要

## 2023年3月期 第3四半期 決算ハイライト

全地域で増収を達成するも、原材料・資源価格高騰の影響大

売上	連結	連結売上高は、前年同期比111.3%、33億円増の326億円。
	日本	前年同期比101.8%の106億円。 低調な自動車関連を精密機器関連がカバー。
	中国	前年同期比115.3%の180億円。 自動車関連で堅調を維持。
	東南アジア	前年同期比115.2%の14億円。 シンガポール、ベトナム、タイ、マレーシアが好調を維持。
	欧米他	前年同期比127.4%の25億円。 医療・飲料関連が好調を維持。
利益	営業利益は、前年同期比81.0%の2,083百万円 経常利益は、前年同期比78.0%の1,983百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比61.5%の1,093百万円	
ネット資金	四半期純利益の計上等により、期首から434百万円増加。	

### ■ 2023年3月期 3Qの決算ハイライト

- 円安の影響はあるものの、2Qに引き続き、中国が業績に貢献し、全地域で増収を達成したが、売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇の他、仕入れコストの上昇による原価率悪化等の影響等により、営業利益以下は減益
- 資金面では、四半期純利益の計上等により、434百万円の増加

## 損益計算書サマリー(3Q比較)

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	29,372	32,694	3,321	111.3%
営業利益	8.8% 2,570	6.4% 2,083	▲487	81.0%
経常利益	8.7% 2,543	6.1% 1,983	▲560	78.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.1% 1,778	3.3% 1,093	▲684	61.5%

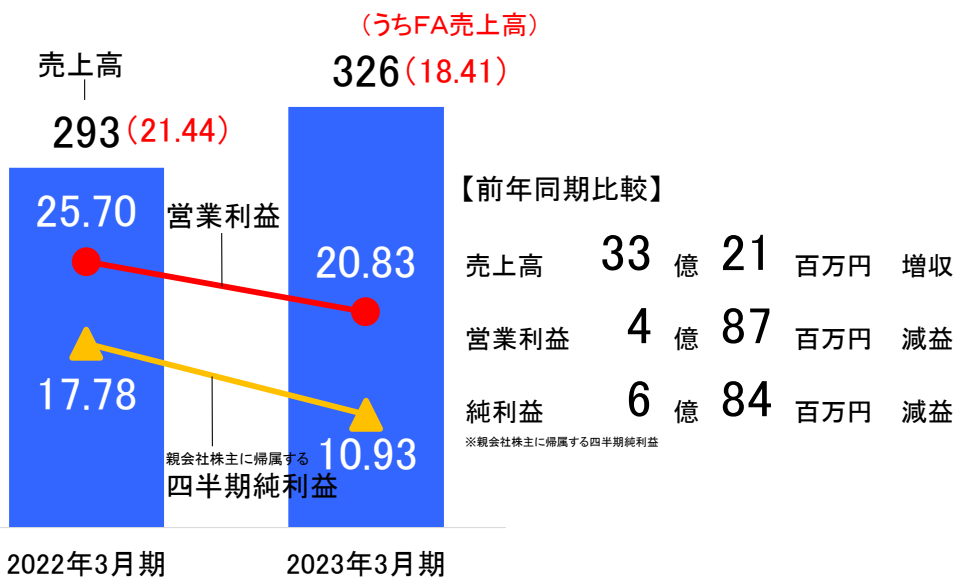
### ■ 決算数値の概要

■ 売上高は326億94百万円で、前年同期比111.3%、33億21百万円の増収

■ 営業利益は20億83百万円、経常利益は19億83百万円、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は10億93百万円

## 売上高と利益(3Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

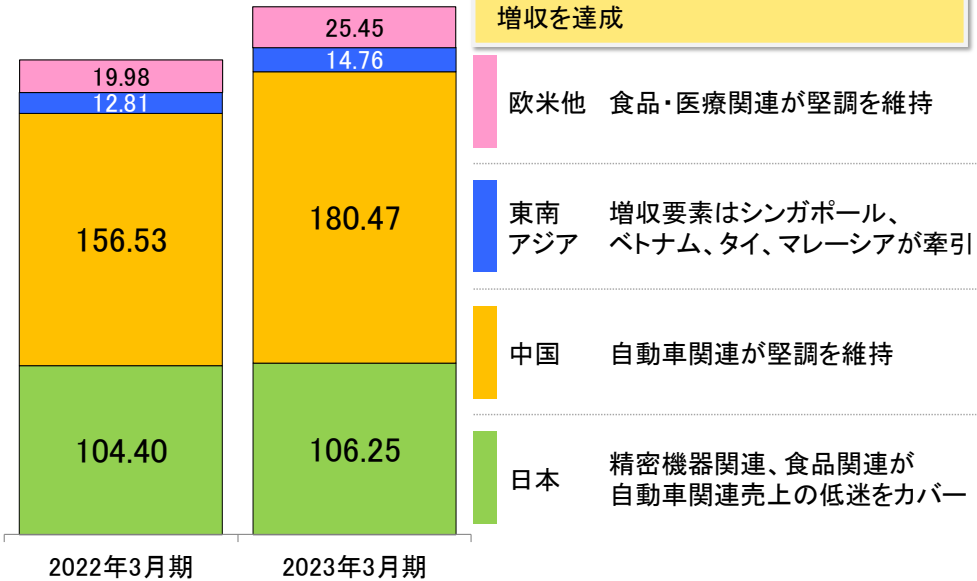
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

3

- 2022年3月期と2023年3月期の売上・利益比較(3Q)
- 増収は達成したものの、期初の想定よりも原材料・資源価格高騰が影響しており、減益
- FA売上は前年同期特需の反動もあり、低調
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 地域別売上高(3Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

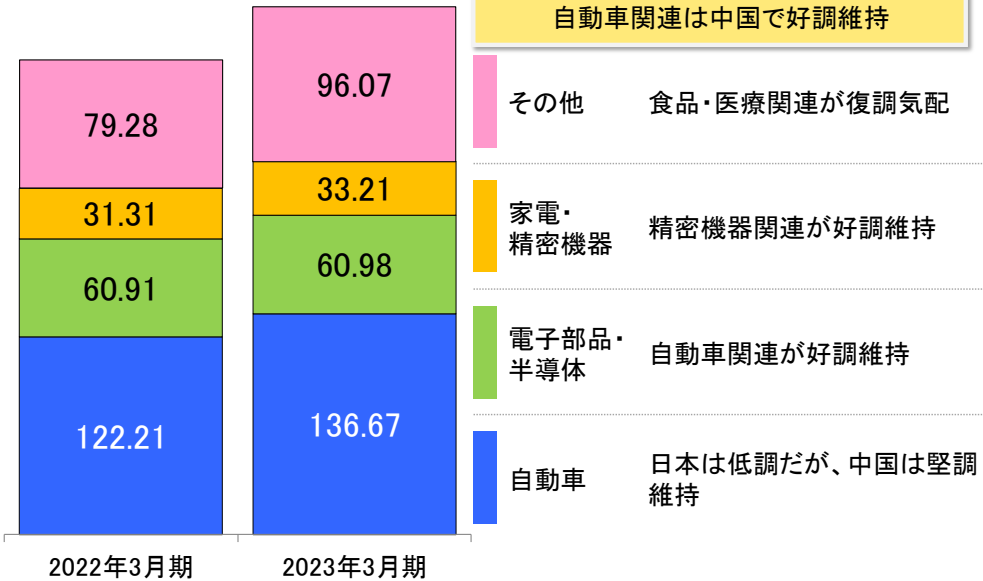
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4

- 地域別の売上高
- 全地域において増収を達成し、中国が比較的、堅調を維持
- 日本は復調の気配は見せているものの、自動車関連売上の停滞が続いている状況
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 業種別売上高(3Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

- 業種別の売上高
- 2Qに引き続き、自動車関連は、日本では低調だが、中国では堅調を維持
- 電子部品・半導体関連は日中ともにスマホ向け需要失速により鈍化
- 家電・精密機器関連は精密機械関連が好調を維持
- その他は食品・医療関連が復調気配
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 営業利益増減(3Q比較)

(単位: 億円)

2022年3月期

2,570

売上増加  
▲990

### 【売上の主な増減要因】

■ 中国の自動車関連が好調を維持しており、増収効果大

前年同期実績から  
487百万円の減益

原価率上昇  
▲721

### 【原価率の主な増減要因】

■ 原材料・資源価格高騰が顕著  
■ 人民元高による中国グループ会社の採算悪化

販管費増加  
▲756

### 【販管費の主な増減要因】

■ 増収に連動した経費の増加  
■ 人民元高の影響  
■ ASCe株式取得の関連費用及びのれん償却費用の発生

2023年3月期

2,083



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

6

### ■ 営業利益の増減分析

- 前年同期の営業利益実績25億70百万円に対して、売上増による利益増加が9億90百万円

原材料・資源価格高騰や人民元高による中国グループ会社の採算悪化等により、原価率が上昇し7億21百万円の利益減少

販管費は増収に連動した経費の増加や人民元高の影響、ASCe株式取得の関連費用及びのれん償却費用の発生で増加、7億56百万円の利益減少

- 結果、2023年3月期 3Qの営業利益は、前年同期から4億87百万円の減益となり、20億83百万円を計上

## 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	28,774	32,935	4,161
総負債	12,466	13,408	942
うち有利子負債	3,820	4,161	340
純資産	16,307	19,526	3,219
ネット資金	995	1,429	434
自己資本比率	56.5%	59.1%	2.6pt

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	818	1,033	214
減価償却費(無形固定資産含む)	716	847	131

- 貸借対照表サマリー
- 総資産は、41億61百万円の増加
- 総負債は、9億42百万円の増加
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末と比較して32億19百万円の増加
- 上記の結果から自己資本比率は前期末から2.6ポイント上昇し、59.1%
- 設備投資額は、前年同期から2億14百万円増加の10億33百万円
- 通期では、設備投資は約15億円、減価償却費は約10億円を計画





# 2023年3月期 通期連結業績予想 資本政策と株主還元方針の変更

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

- 2023年3月期の通期業績予想及び資本政策の基本方針と株主還元方針の変更について

## 2023年3月期 通期の連結業績予想を据え置き

(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)		2023年3月期 連結累計期間			
			通期予想 (2022/12/26公表)	前期差	前期比	
売上高	39,358		43,100	3,741	109.5%	
営業利益	7.7%	3,041	5.5%	2,350	▲691	77.3%
経常利益	7.6%	3,007	5.3%	2,300	▲707	76.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.2%	2,040	2.6%	1,130	▲910	55.4%
自己資本利益率 (ROE)	14.2%		6.7%	▲7.5pt	—	
2023年3月期 配当予想	19.50円 = 中間 6.50円 + 期末 13.00円(予定)					



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

9

- 通期の業績予想及び配当予想は、2022年12月26日及び2023年1月13日公表の内容を据え置き
- 足下の状況は、売上面では日本事業での自動車関連等の半導体不足を主要因として生産回復が遅れていること、中国事業では政府のゼロコロナ政策の緩和により、中国工場での COVID-19感染者数の増加は小康状態にあるものの、中国市況の見通しが難しい
- 利益面では日本事業での価格改定による利益改善効果はあったものの、お客様からの受注減少に加え、日本における協力工場からの仕入品の更なる値上げ要請や電力料金の高騰等もあり、通期連結業績予想を継続
- 2023年1月13日に、資本政策の基本方針及び株主還元方針の見直しを実施、従来の「連結配当性向」に加え、安定・継続配当を確保するため「株主資本配当率(DOE)」を新たに導入した結果、2023年3月期の期末配当は、前回予想から6円50銭の増額、前期から4円00銭の増配となる、1株あたり13円00銭を予定
- なお、最終的な配当金額は、行使価額修正条項付新株予約権の行使状況に応じて決定する予定

## 資本政策の基本方針と株主還元方針の変更

連結配当性向30%以上、かつ株主資本配当率(DOE)3%以上

指標	目標	
自己資本比率	60%以上	【財務基盤の健全性】 自己資本比率
ROE	10%以上	【経営効率】 ROE、ROIC
ROIC	10%以上	【配当方針】 連結配当性向、DOE
連結配当性向	30%以上	「財務基盤の健全性」「経営効率」等の具体的な指標・目標を定めるとともに、配当については、従来の「連結配当性向」に加え、安定・継続配当を確保するため「株主資本配当率(DOE)」を新たに導入
株主資本配当率(DOE)	3%以上	



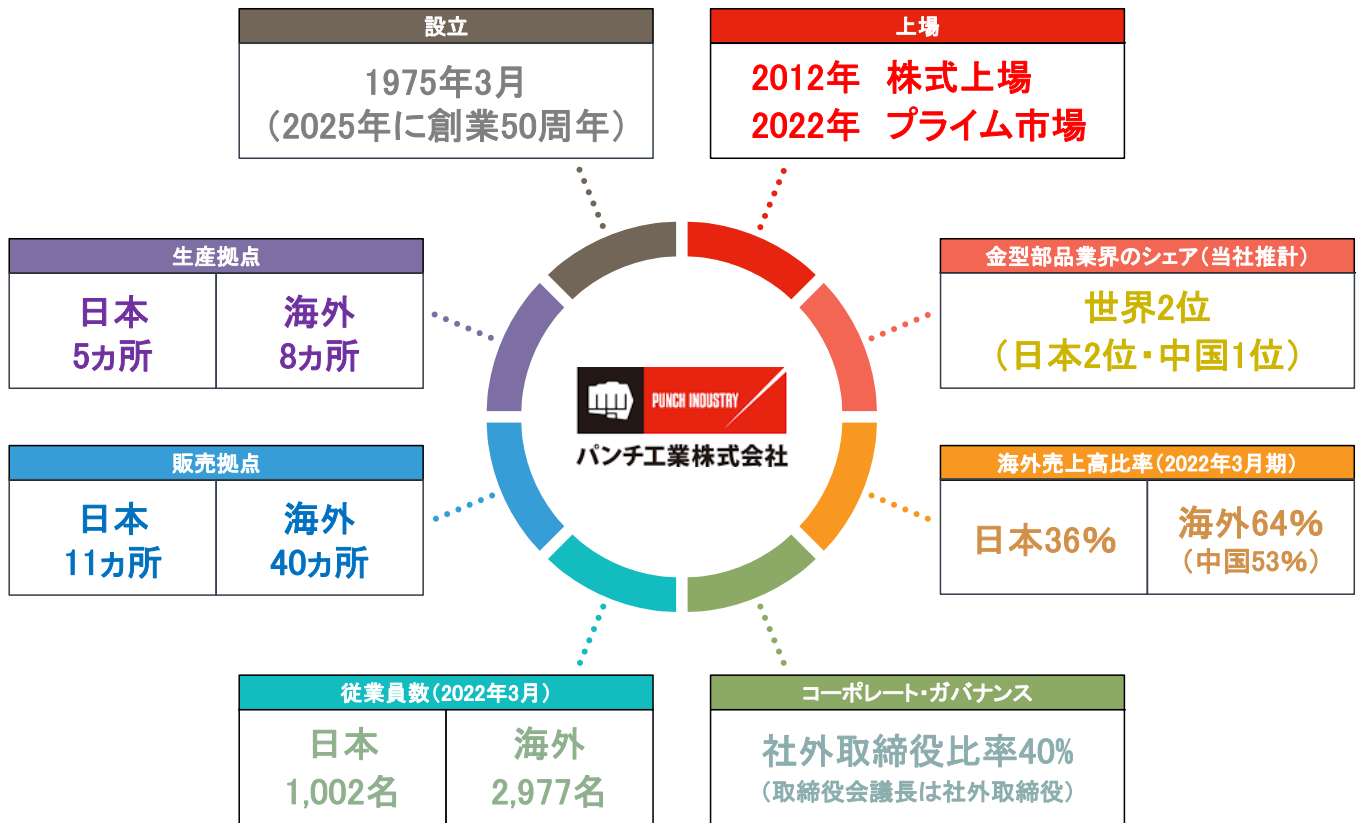
- 2023年1月13日に公表した「配当予想の修正(増配)及び資本政策の基本方針と株主還元方針の変更に関するお知らせ」につき、内容を補足説明
- 今般、当社グループが新たな成長フェーズへの移行を目指す中、株主の皆様に対する利益還元を最重要施策の一つとして再認識し、資本政策の基本方針及び株主還元方針の見直しを実施、配当額決定のための指標として、「連結配当性向30%以上、かつ株主資本配当率(DOE)3%以上」を新たに設定
- 稼ぐ力の強化によりROIC10%以上を安定的に確保し、ROEの向上と自己資本の充当を図るとともに、健全な財務基盤を維持しつつ、創出されたキャッシュを成長戦略投資と安定配当に最適なバランスで分配することで、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指す

## 参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

- 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。
  
- 中期経営計画
  - [http://www.punch.co.jp/ir/med\\_management.html](http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html)
  
- 決算短信
  - <http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>
  
- 決算説明資料
  - <http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>
  
- IRニュース一覧
  - <http://www.punch.co.jp/ir/2023/>

# ひと目でわかるパンチグループ



## マネジメント体制

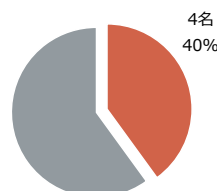
### 代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 <b>森久保 哲司</b> (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

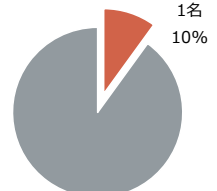
### 取締役体制

<b>取締役</b>	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役常務執行役員 最高執行責任者(COO/営業)	真田 保弘
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO/製造)	高梨 晃
	取締役	杉田 進
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
<b>取締役(監査等委員)</b>	社外取締役	大里 真理子
	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	松江 頼篤
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄

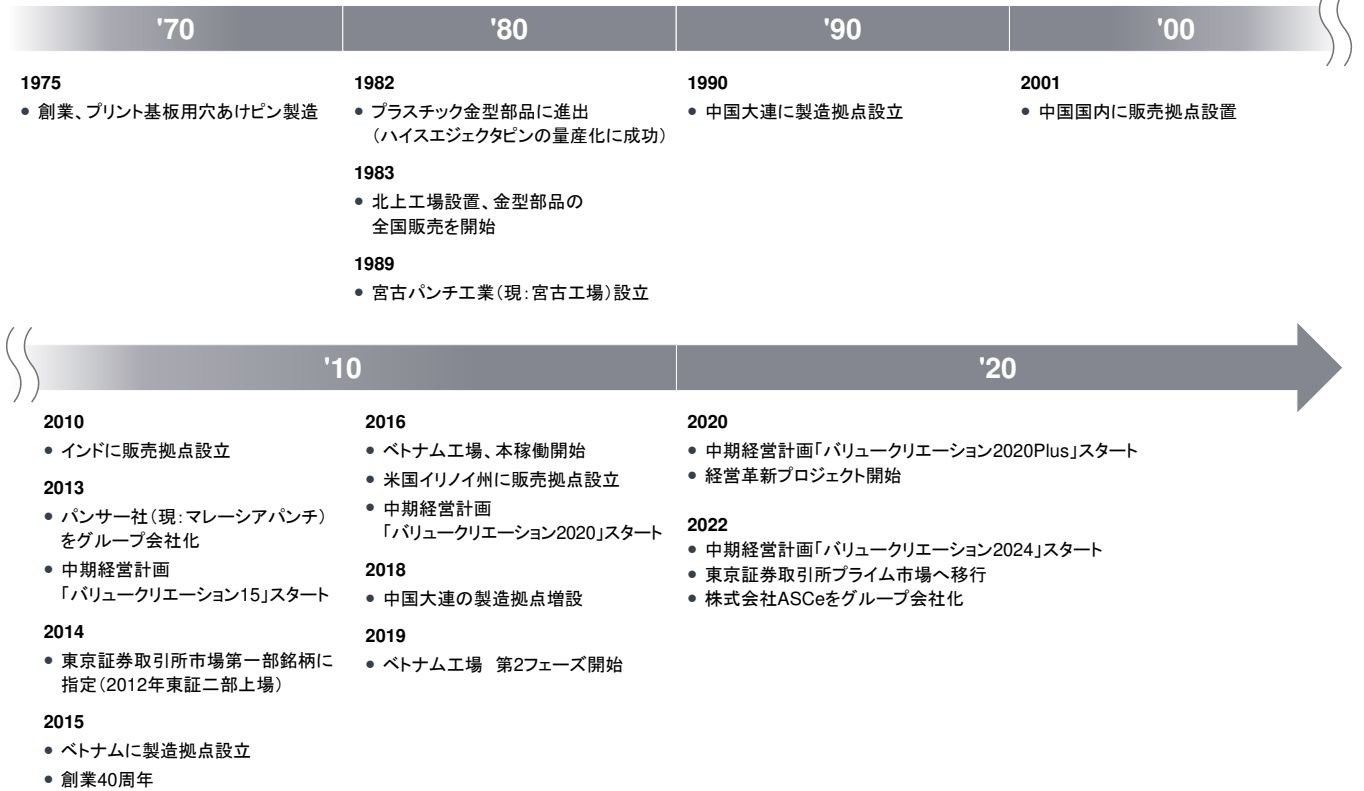
社外取締役比率



女性取締役比率

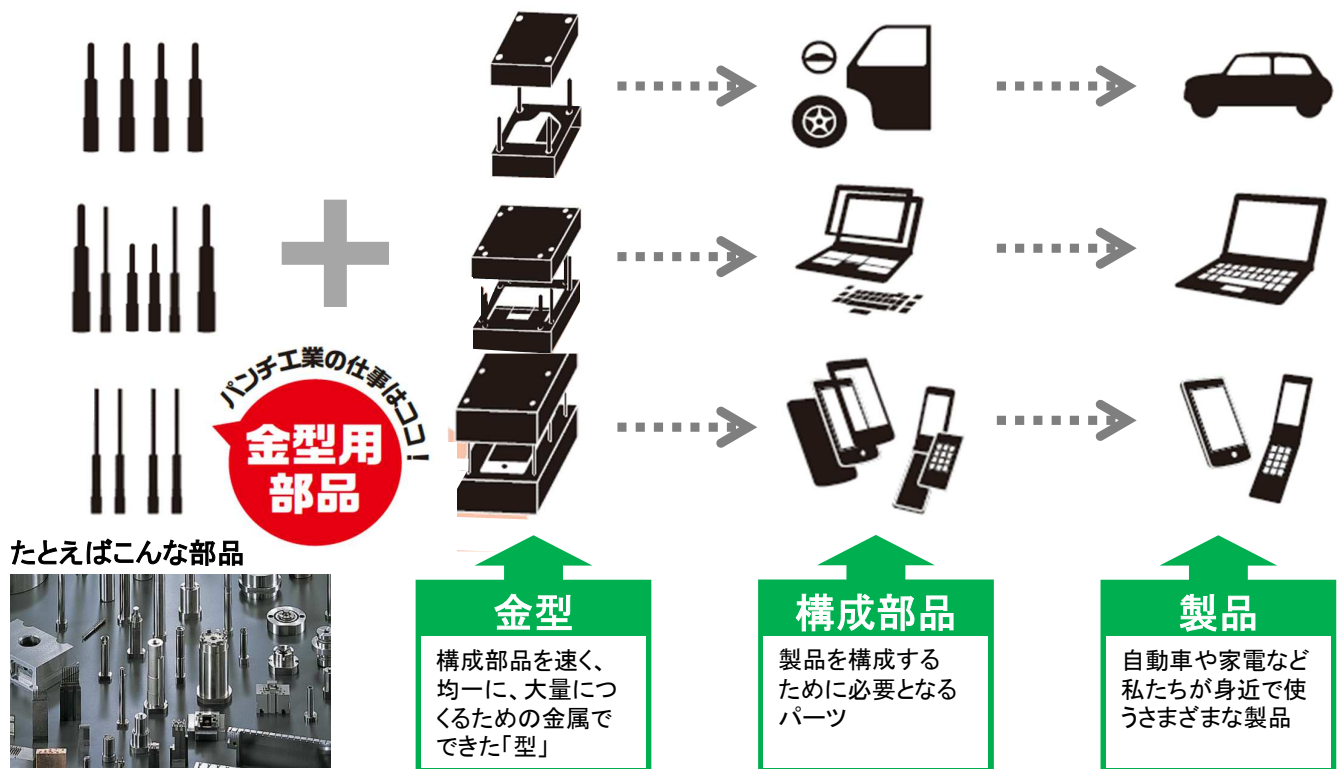


# パンチグループ沿革



## 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売  
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



# パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品  
ものづくりの上流から下流までお取引

## プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶解したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品(押し出しピン)です。



### 主要な製品

#### コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

## プレス金型部品

プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



### 主要な製品

#### ホルダーガイドポスト関連

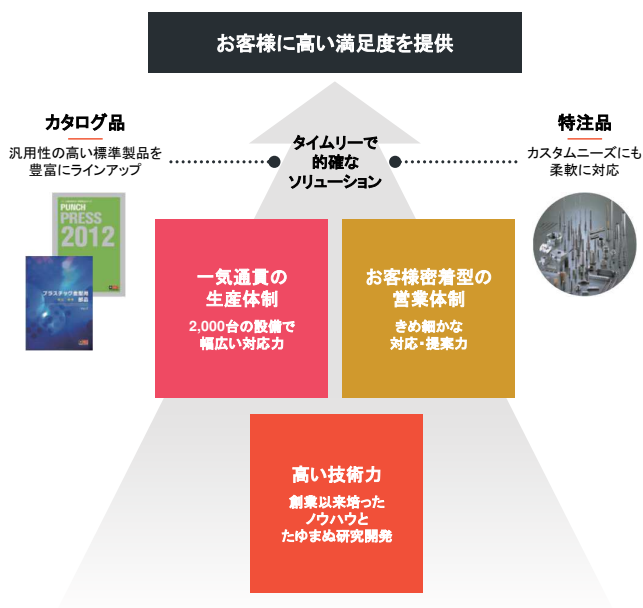
上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



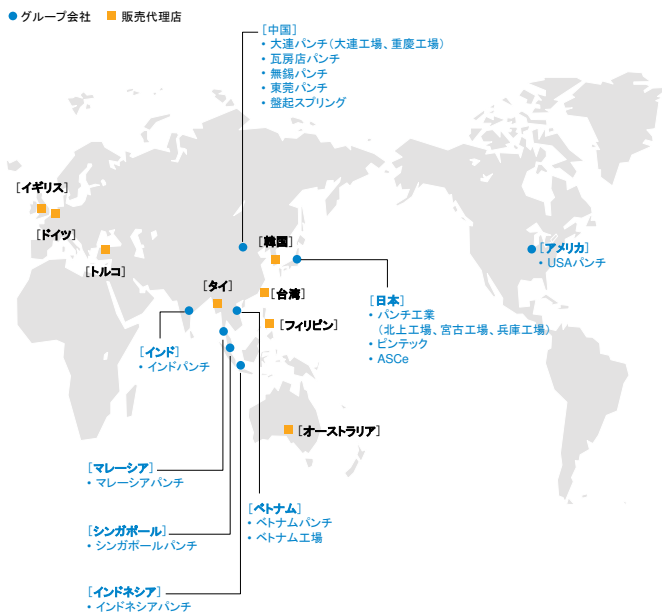
# パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品  
世界の「ものづくり」を支える

## パンチグループの強み

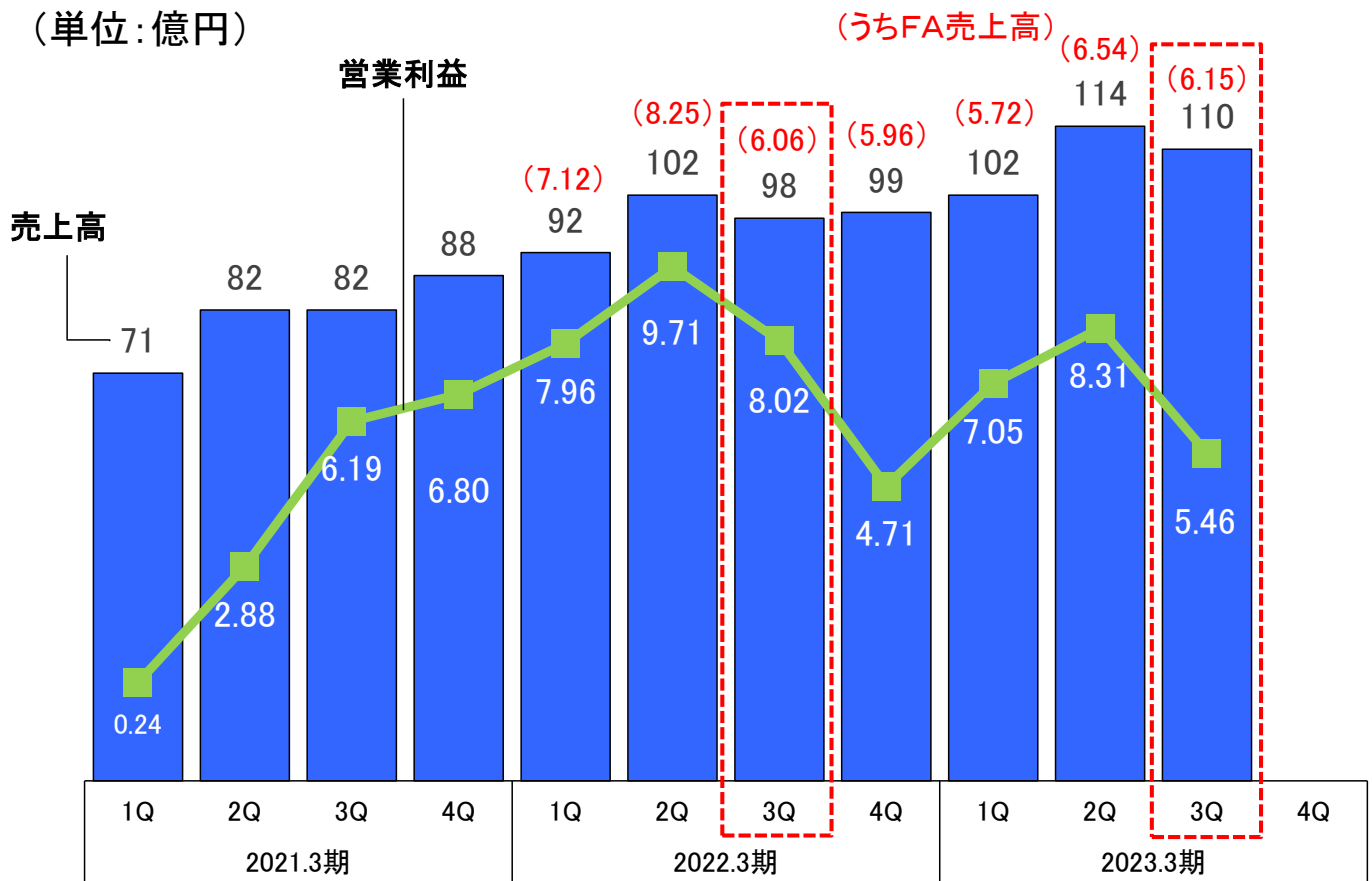


## パンチグループのネットワーク



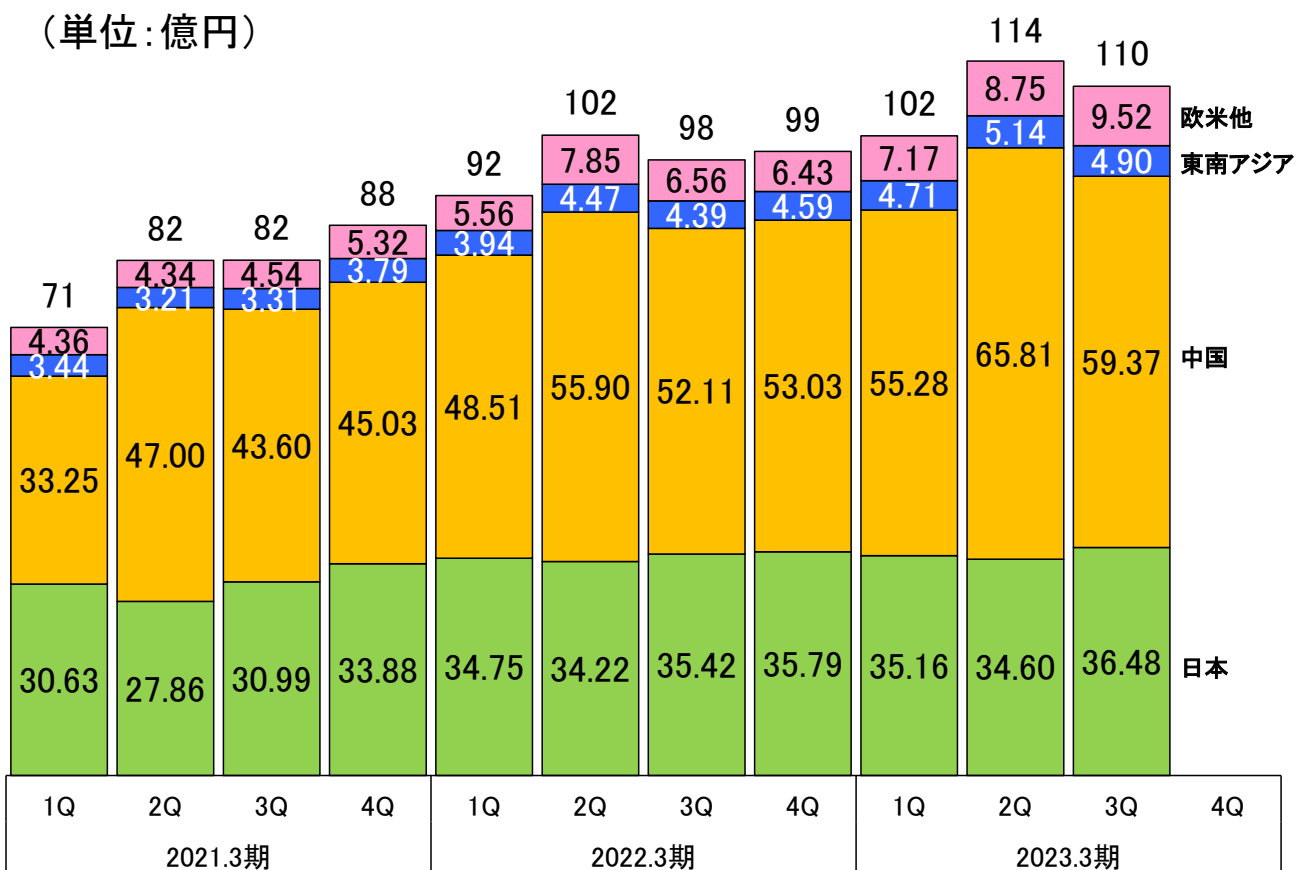
# 売上高と営業利益の推移

(単位:億円)



# 地域別売上高

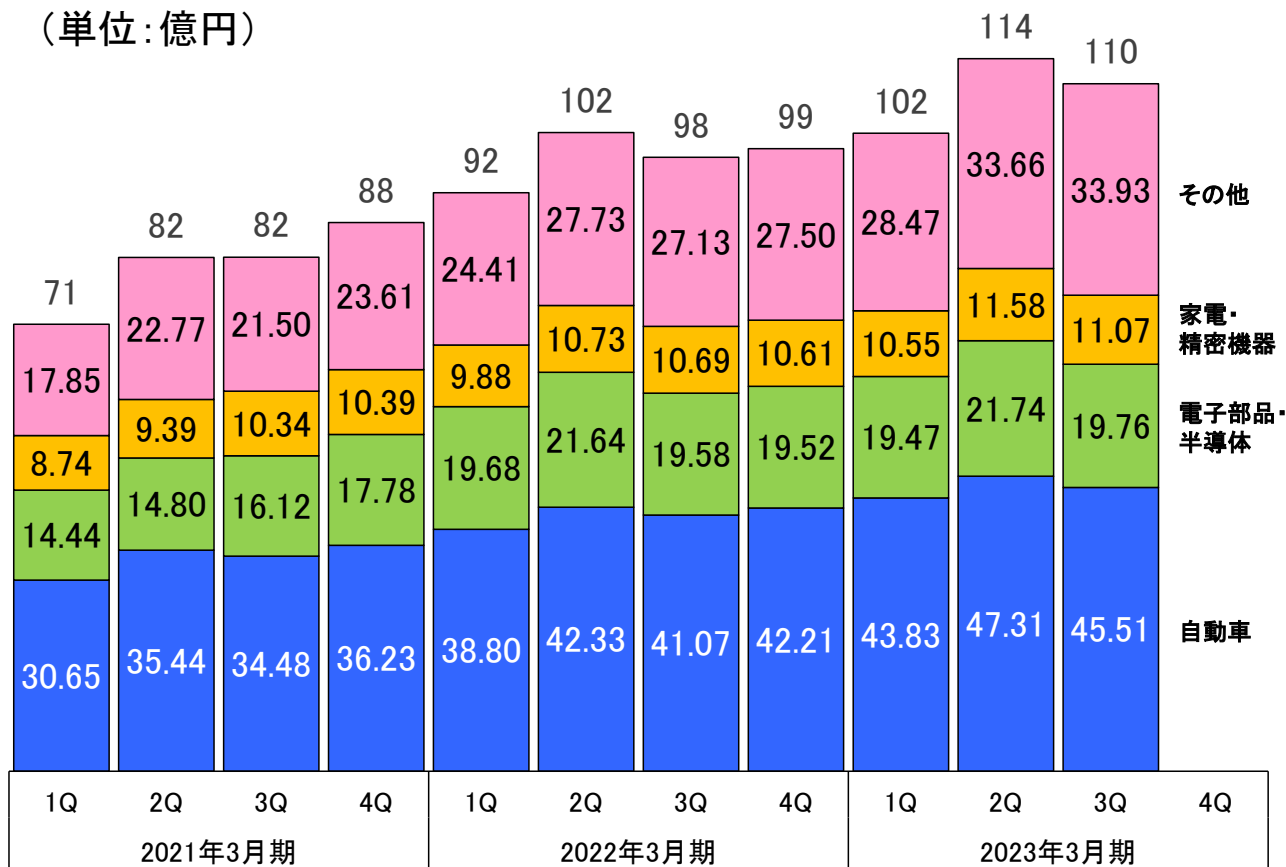
(単位:億円)





# 業種別売上高

(単位:億円)

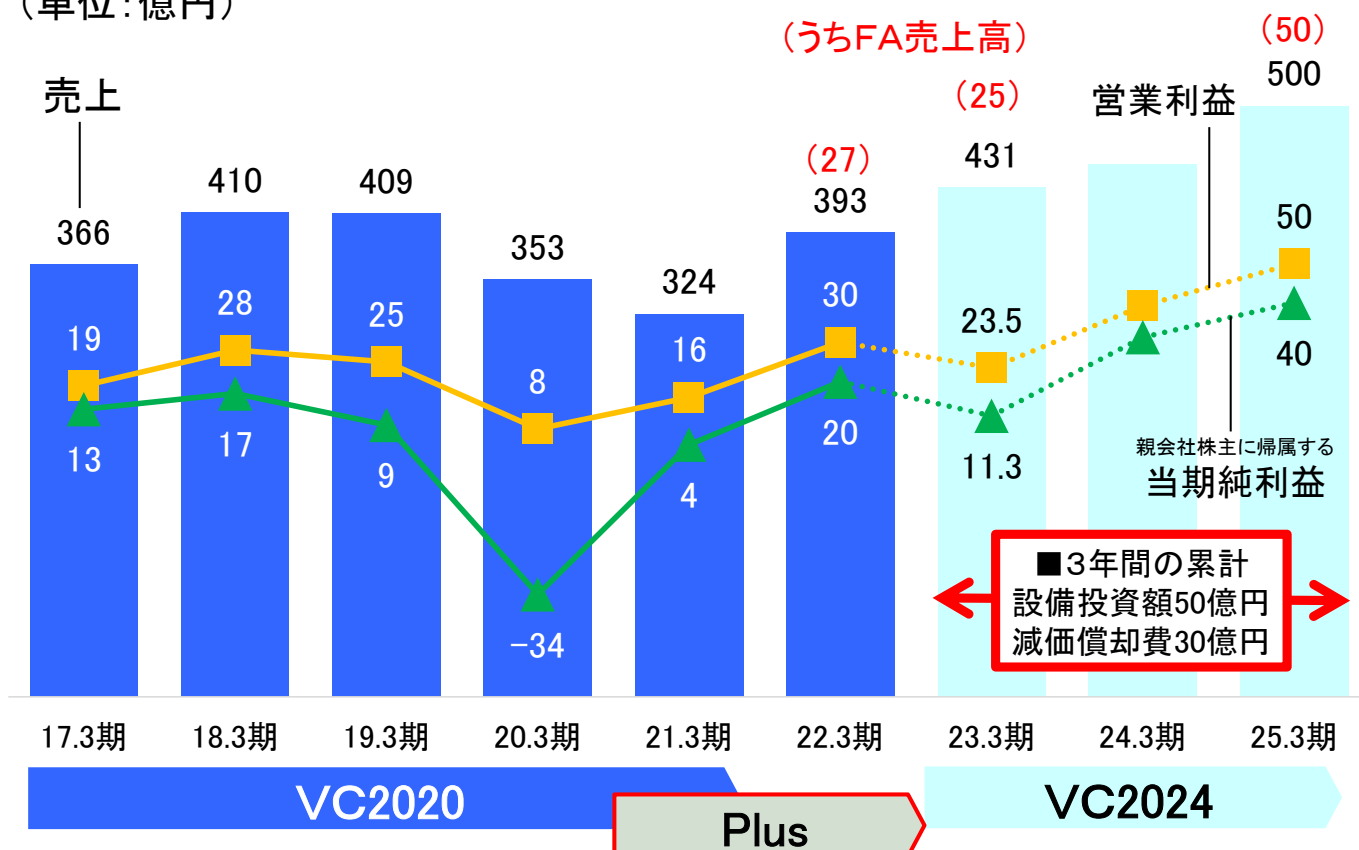


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

# 中期経営計画「VC2024」の経営数値目標

(単位:億円)



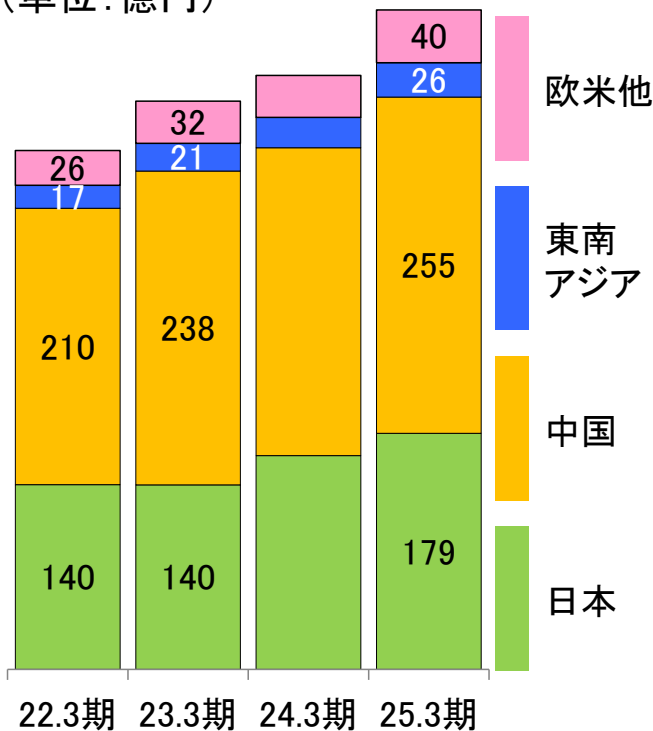
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

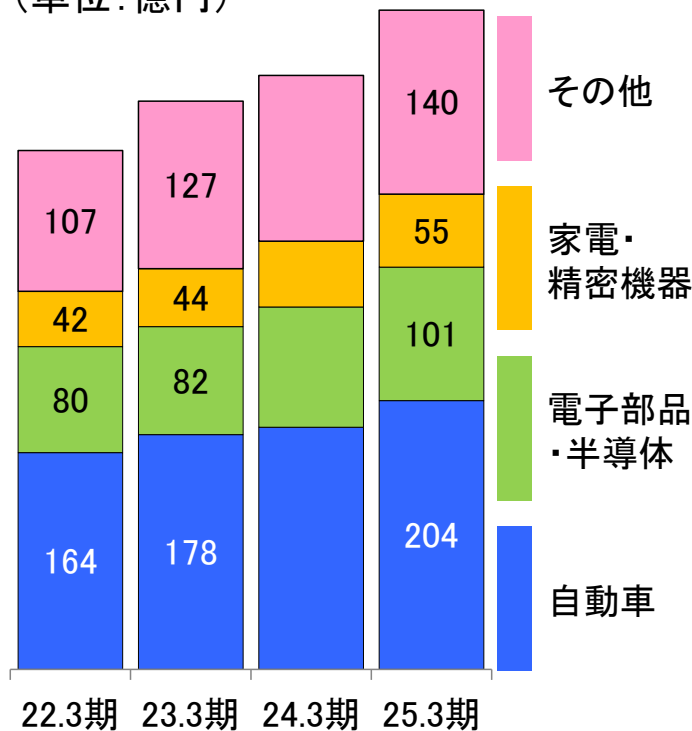
# VC2024の地域別・業種別売上の数値目標

「VC2024」は、2022～2024年度（2023年3月期～2025年3月期）

(単位: 億円)



(単位: 億円)



## 流通株式時価総額の増大に向けて

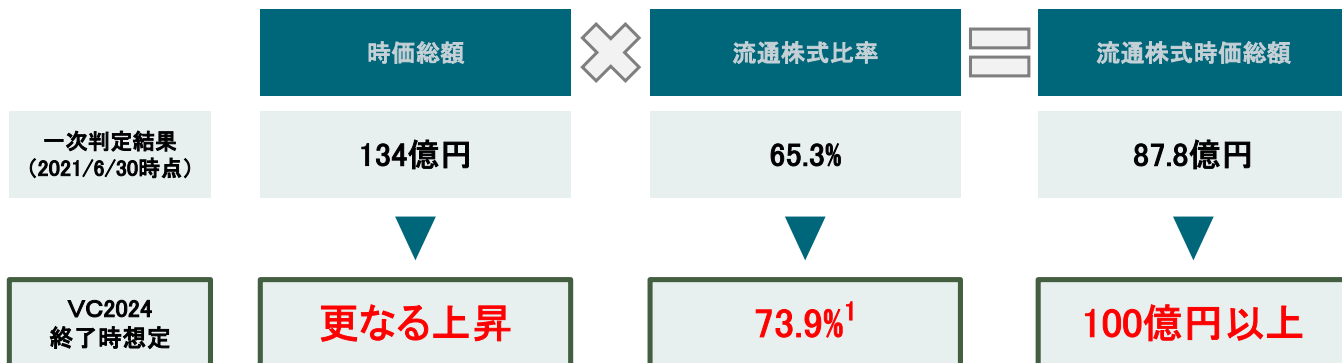
企業価値向上のための施策を通じた株価・時価総額上昇を通じ、プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円の達成・及び更なる上昇を目指す

### 流通株式時価総額上昇に向けた課題

企業価値向上施策を通じた株価上昇  
ROIC経営による「稼ぐ力」の強化  
成長投資と安定配当を最適バランスで実施

### 課題解決に向けた基本方針

成長に向けた設備投資の実施  
DX推進での業績向上と働き方改革  
新技術・新製品の持続的な開発



1. 第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の発行にて2,500,000株の新株を発行し、その全てが流通株式に該当したと仮定



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。